

相互扶助の関係

一年 望月 鍊

僕には一匹の愛犬がいる。名前はホット。家族として、暖かく育ってほしいという意味が込められている。家に来てから、もう4年の年月が経った。今はとても元気だが、2年前ホットは病気にかかっている。

腕に小さい膨らみができているのを知ったのは、母がホットを抱いている時だった。最初はあまり気にしていなかったが、少し放置していたら悪化していた。心配だったので、獣医さんに診てもらった。そこで初めて病気だと分かった。その病気は簡単にいうと、寿命を減らしてしまうものだった。僕はあまり手術をさせたくないかった。何故なら、愛犬に痛い思いをさせるのが嫌だからだ。でも、ホットに長生きをして欲しい限り、心苦しいが手術をせざるを得なかった。手術を決意し、獣医さんに任せた。そして2ヶ月ほど経って無事、治すことができた。

今は、正常な体でホットは生きている。暖かい日の光を浴びながら、穏やかに生きている。昔のホットと比べると体も大きくなっていて、成長を感じることも沢山ある。

僕にとって、ホットの一番の長所は、心の癒しをくれる事だ。僕は、疲れて家に帰ることが多いと

思っている。そんな時に、玄関の扉を開けるとホットがいる。尻尾をふってこっちを見ているのを見ると、つい笑ってしまう。そして、ホットの布団のように暖かい毛を触ると、疲労が吸収されるように抜けていくような感じがする。ホットは、人の心を癒す力がある。これはきつと僕に限った話ではない。ホットは家族全員を玄関扉の内側で毎日、「おかえり」と迎えてくれている。

「ペットがいるから自分も頑張れる。」こういう事がある人も多いと思う。これはペットが心を落ち着かせてくれるからだと思う。あくまで僕の場合だが、自分が飼っているペットを触ったり見たりすると「可愛い」「暖かい」などの感情が出てくる。だから、やる気や頑張りに繋がると感じた。僕もほぼ毎日のように、ホットにやる気をもらって頑張っている。

ペットと関わる上で一番大事なのは、ペットと飼い主の関係だと思う。お互いがお互いが必要とできる関係でいられるようにしたいと意識し、それをこれからも実行していきたいと思う。